

第3学年〇組 道徳学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 主題名 心をかよわせて
2 - (2) 思いやり・親切

2 資料名 「みんなのお見舞い」 (教育同人)

3 ねらい
相手のことを思いやり，進んで親切にしようとする態度を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

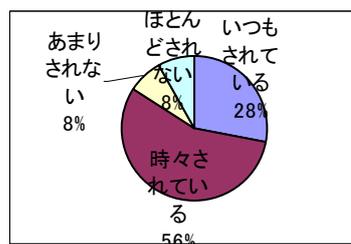
本主題は、「相手の思いに気づき，親切にする態度を育てる。」ことをねらいとしている。これは，他者を理解しようとする心を持ち，相手の思いに気づき，お互いを信頼し，助け合おうとする心をもって寄り添うことができるようになることである。生活の中で子どもたちが，そうした経験を積むことで，心が通じ合い，確かな友情が育っていくと考える。また，学級の中でこうした思いやりのある言動を大切にすることで他者理解が進み，互いに信頼でき，個々の児童の心が安定した集団生活を送ることができるようになる。このように相手を思いやり，親切にする心を育てていくことは人間として生きていく上でかけがえのないものであり常に実践する態度を育てていくことが必要である。

(2) 児童の実態について

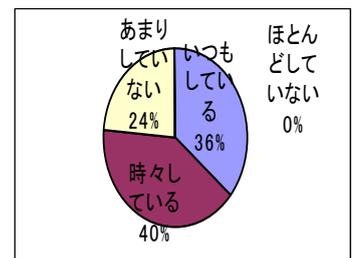
本学級の子ども達は，入学時は自分の世界を確立したばかりで他者との関わりは主に保護者との関係によるものであった，その姿とくらべるとこの3年間ずいぶん交友関係が広がり仲間意識の発達もめざましい。学校の中で「～することをがんばっている」という意識調査では72パーセント児童が複数回答を寄せ，学校生活の充実を感じていることが分かる。

また，生活の中で自分が親切にされていることに対して，いつもされている28%，時々されている56%，あんまりされない8%，全然されない8%となっており，多くの児童は自分の周りの友だちの思いやりを感じとることができている。さらに自分が友だちに対して親切にしているかという問いには，いつもしている36%，時々している40%，あんまりしていない24%，全然していない0%となっている。(グラフ参照)

「自分は親切に
されている」



「自分は親切に
している」



この結果から、子ども達は自分に対する親切を感じると同じように他者に対する思いやりの心を持ち、親切な行為を自ら進んで行うことを自覚していることがわかる。一方で自分は親切にしているよりことよりも、親切にされていないと感じている児童が多いこともわかる。実際、子ども達は自分本位の考えにとらわれて行動するため、周りを待たせたり、友だちの権利（物的、時間など）を奪い取ったりなどの行為をすることがある。そのため、親切にされることよりもされていないと感じていると思われる。しかし、日常の生活の中では、授業中の意見交流や休み時間の遊びの様子からすると友だちとの関わりをなにより大切に思い、交流することを気持ちのよいこととしてとらえている姿も多く見受けられる。

相手の気持ちをより深く理解できるようになるこの期の子ども達に、互いを理解し、思いやりを持ち、親切にしようとする態度の育成をはかることは大変意義深いことである。

(3) 資料の活用について

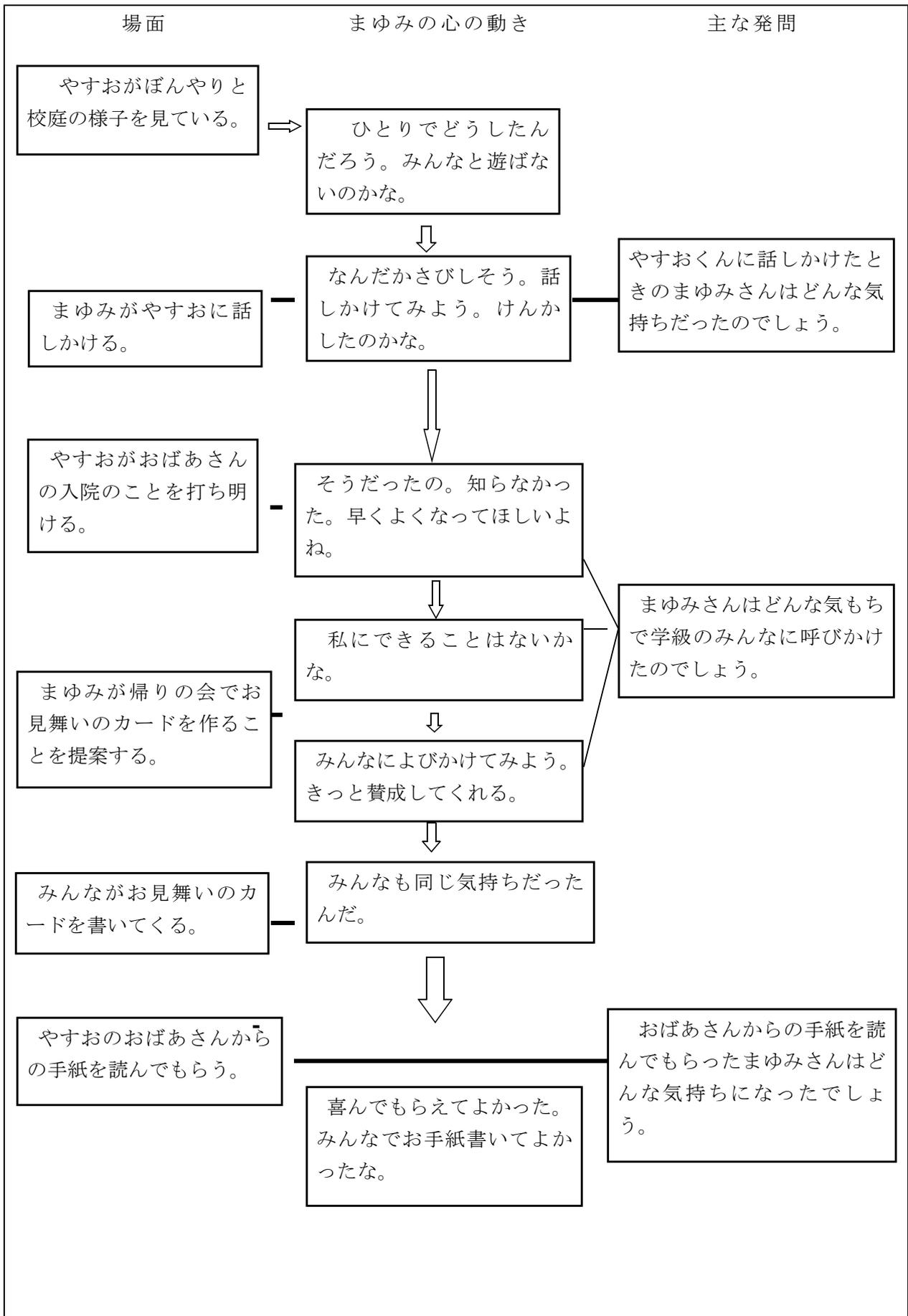
本時の中心資料「みんなのお見舞い」は、おばあさんの入院でしょんぼりしているやすおにまゆみが気づき、声をかける。驚いたまゆみは何かできることはないかと考え、学級みんなにお見舞いの手紙を書くことを提案する。その話を聞いたやすおは少し照れながらも、みんなの書いた手紙に胸がいっぱいになる。翌日今度はおばあさんからの感謝の気持ちがつづられた返事をもって、子ども達もうれしい気持ちになるという内容である。

指導にあたっては、まゆみがしょんぼりしているやすおに声をかける気持ち、やすおのために何かできるのではないかと考える気持ちに共感させながら、ねらいとする道徳的価値を追求していきたい。そのためにまず、やすおがしょんぼりしていることに気がつくまゆみの行動を「気づく心」としてとらえさせる。そして、学級みんなにお見舞いの手紙を書くことを提案するまでのまゆみの気持ちに共感するために役割演技を取り入れる。さらに、おばあさんからの手紙を受け取ってにこにこするみんなのなかにいるまゆみの気持ちをとらえることで、ねらいとする価値の把握を図りたい。

そして、自分の生活のなかで、友だちや周りの人に親切にできたことを振り返り、道徳的価値の内面的自覚を図ることとする。最後に、教師の実習時の話ををし、今後の生活への意欲づけを図りたい。

資料分析

「みんなのお見まい」教育同人社



5, 展開

	学習活動と主な発問	教師の支援や手立て
導入	<p>1 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">しんせつにするとき, どんな心が大切なのか考えよう。</p> </div>	<p>○ そのときの場面の様子を想起しやすいように, 友だちに親切にしている場面の写真を提示する。</p>
展開前段	<p>2 資料を読んで話し合う。</p> <p>(1) 範読を聞く。</p> <p>(2) やすおに話しかけたときのまゆみの気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>やすおくんに話しかけたときのまゆみさんはどんな気持ちだったでしょう。</p> </div> <p>(3) やすおの心配事を知ったまゆみの気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まゆみさんはどんな気もちで学級のみんなに呼びかけたのでしょうか。</p> </div> <p>(4) やすおのおばあさんから手紙をもらったまゆみの気持ちを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おばあさんからの手紙を読んでもらったまゆみさんはどんな気持ちになったのでしょうか。</p> </div>	<p>○ まゆみがやすおのしょんぼりしている様子に気づき, わけを聞いたときの心が分かるように話し合い, 板書する。</p> <p>○ まゆみの気持ちを捉えさせるために役割演技をする。 (気づき・共感・行動)</p> <p>○ 親切な行為をやり遂げた時の充実感や満足感を学級で共有した気持ちをとらえさせるためにまゆみの気持ちを板書に整理する。</p>
後段	<p>3 自分の生活の中で人に親切にできたことを振り返る。</p>	<p>○ 子どもが自分の経験を想起しやすいように学校生活の様々な場面を写真で提示する。</p>
終末	<p>4 教師の話聞き今後の生活への意欲を持つ</p> <p>○ 実習時の体験を話す。</p>	<p>○ 親切なことをしたあとのすがすがしさや充実感を感じることでこれからの意欲につなげていく。</p>

写真

- けがをした友だちを保健室に連れていつている。
- 心配・大丈夫かな

親切

めあて 親切にすると、どんな心が大切か考えよう。

みんなのおみまい

元気のないやすおくんに声をかける

おばあちゃんの入院

・学校にもよく来てくれていておばあちゃん

どうしたんだろう。

気がつく心

早く元気になるといいな。

同じ気持ちを持つ心

なにかできることはないかな。

助けてあげようとする心



学級みんなに呼びかけよう。

みなさんの心のこもったカードを読み、ご親切な気もちが足りたみを早くなおしてくれるでしょう。
お医者さんも「みなさんの気もちのほうがぐすりよりききます。」
とっています。
ほんとうにありがとうございます。

にこにこしているみんなを見て

- おばあさんが喜んでくれてよかった。
- 手紙を書いてよかった。
- やすおくんも元気になってくれてよかった。
- みんなで書いたからみんなもにこにこしていてうれしいな。

自分の生活をふりかえって

周りの人に親切にできたこと